

に
おまかせ!

めざましさんの
ねぶそくを
がいしょうしょう!





「い、いいよ。やつぱり
ぼくが おこして あげるよ！」

「どうして？
せっかく わたしが
おこして あげるって
いってるのにい……。」



あわてる めざましくんを ちょっと うたがいながらも、
あしたからも はやおきを ちかう コニーちゃんでした。

コニーに おまかせ！ めざましくんの ねぶそくを かいしょうしよう！

1997年9月1日 第1刷発行

発行者／野間佐和子

発行所／株式会社講談社

〒112-01 東京都文京区音羽2-12-21 電話／編集部03-5395 3494 販売部03 5395 3606 業務部03 5395 3602

印刷／図書印刷株式会社

製本／大村製本株式会社

原案／木原庸佐 小畑芳和

キャラクターデザイン／きはらようすけ

脚本／小山薫堂

絵／スタジオ・メルファン（大野美喜）

構成／ぼるぼっくす

装幀／司馬牧子

©1997 kerokering/FCC

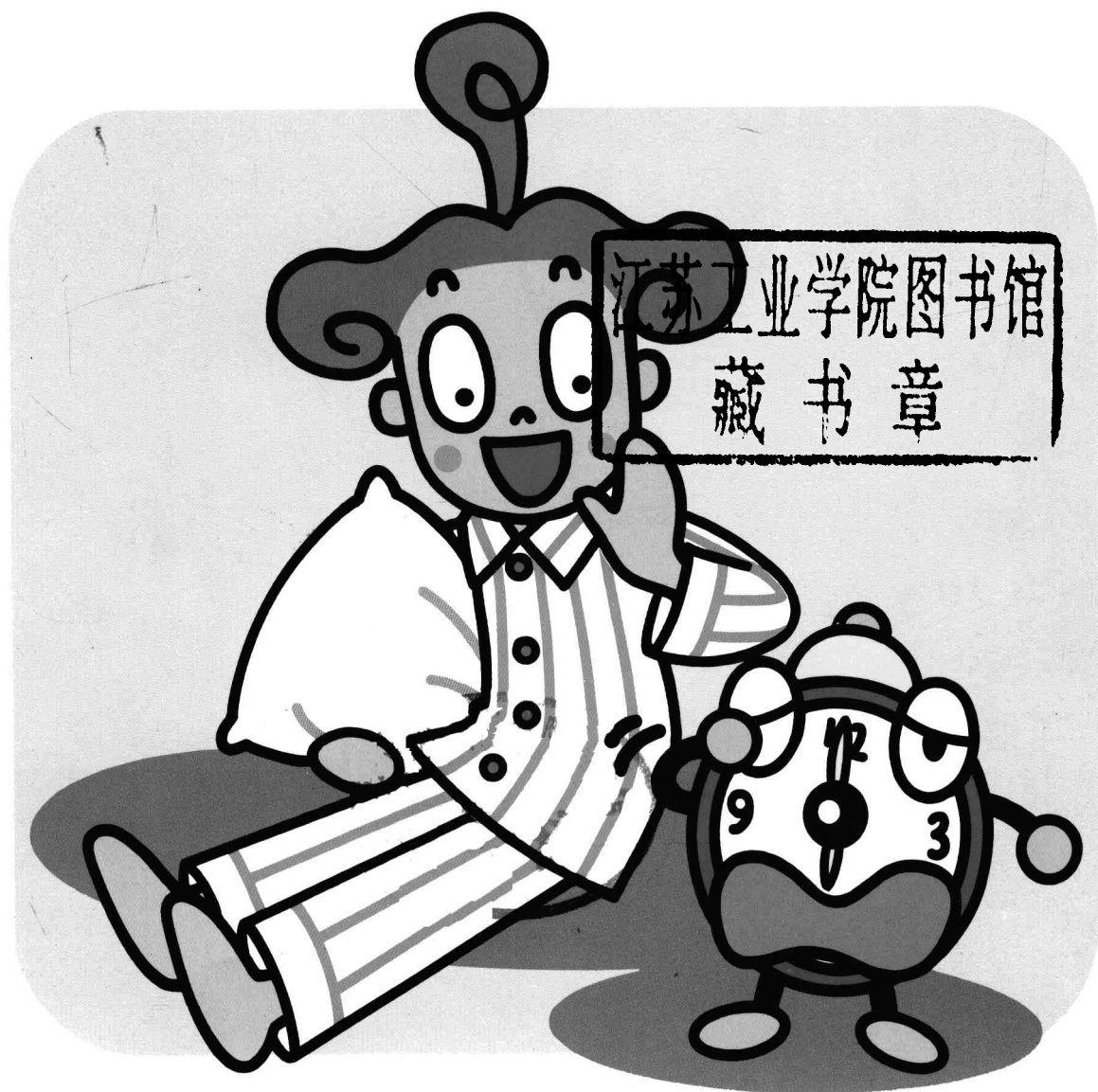


落丁本・乱丁本は、ごめんどうですが小社雑誌業務部あてにお送りください。送料小社負担にておとりかえいたします。
本書の無断複写（コピー）は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

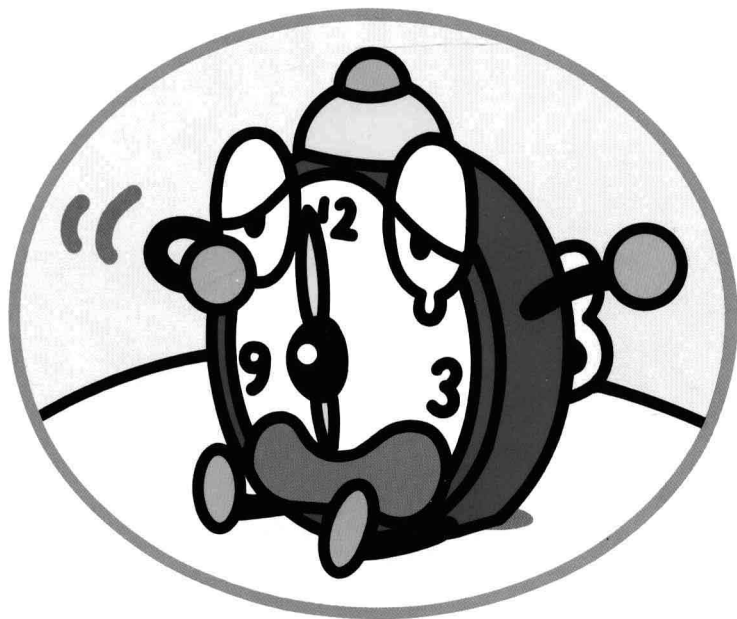
ISBN4-06-339053-9 （げんき）

©KODANSHA 1997

めざましくんのねぶそくを
がいしょうしよう!

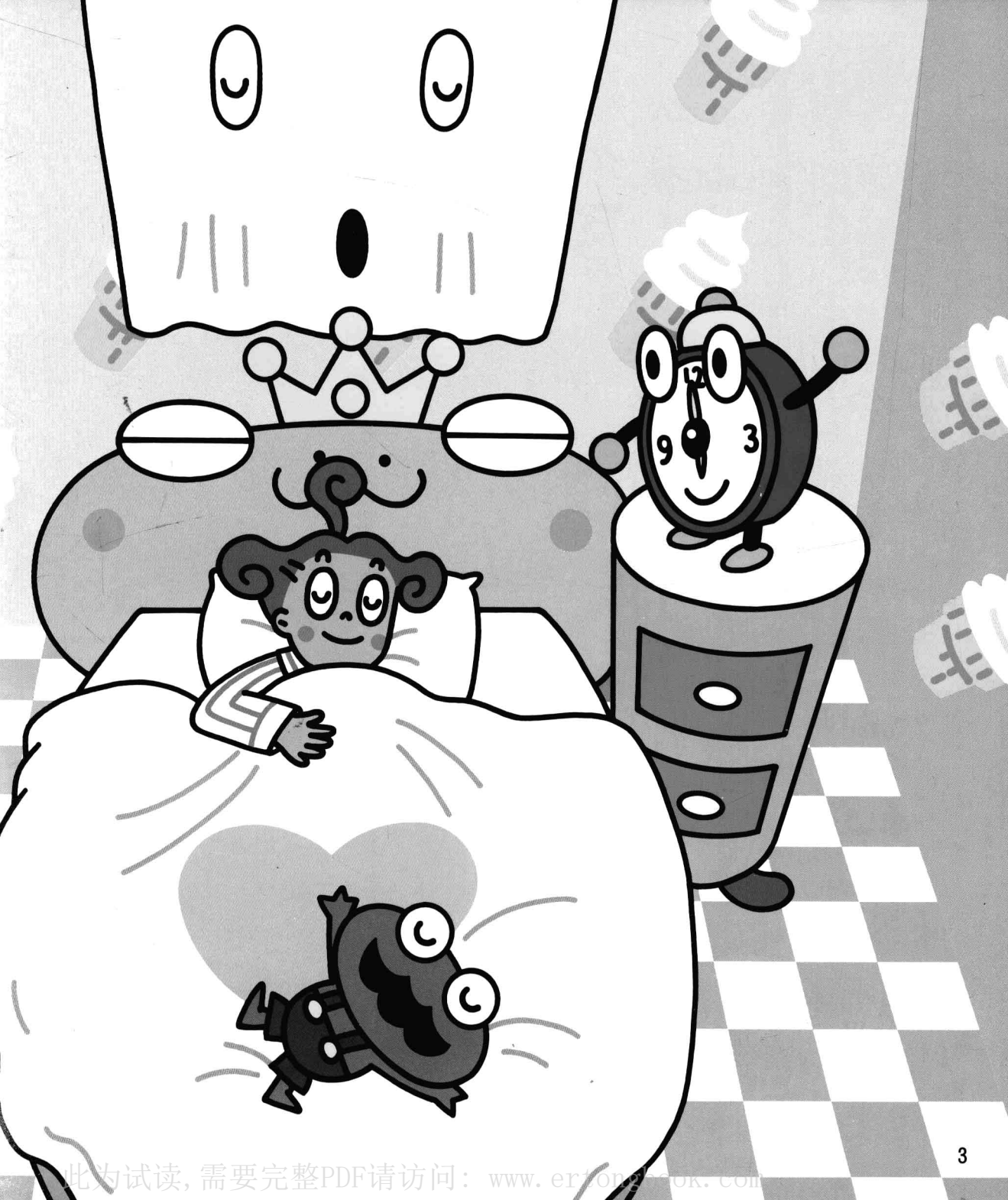


もう すぐ ^{ろく}6じです。めざましくんが、
ねむい めを こすりながら めを さました。



「ふわあ〜，ねむいなあ。でも ^{こにー}コニーちゃんのためだ，がんばらなくちゃ……。」

まいあさ はやおきして ^{こにー}コニーちゃんをおこすのが，めざましくんの しごとです。



「じりじり じり～ん！

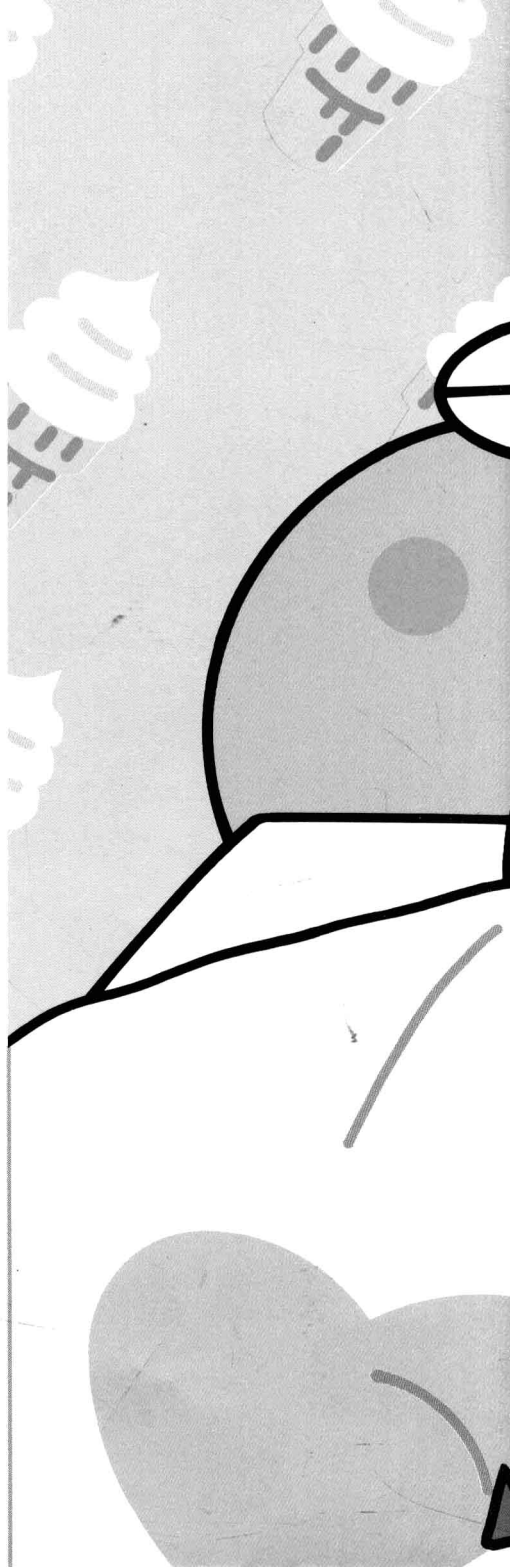
さあ あさだよ、^{こにー}ちゃん
おきて。」

めざましくんが ^{べる}ベルを ならします。

でも、^{こにー}ちゃんは ちつとも
おきようと しません。

「じりじり じり～ん、^{こにー}ちゃん
おきて おきて！」

めざましくんは、もつと もつと
おおきく ^{べる}ベルを ならしました。



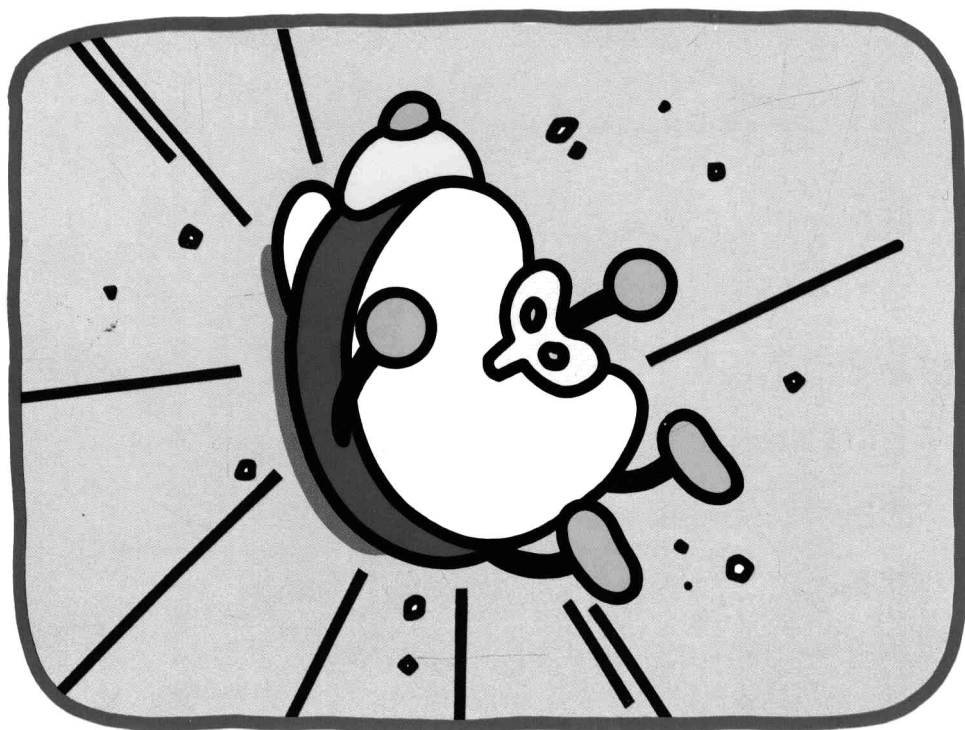


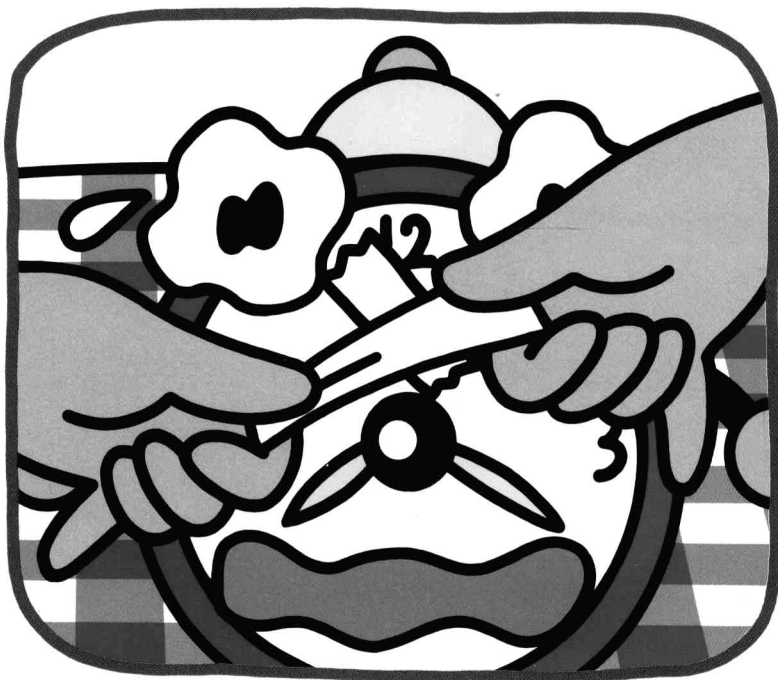


ところが――。

「う～ん、うるさいなあ……。」

まだ ねぼけて いる コニーちゃんは、
めざましくんを ひよいと つかみ、
かべに むかって ほうりなげて しまったのです。





「ほんとに ごめんね、めざましくん。」

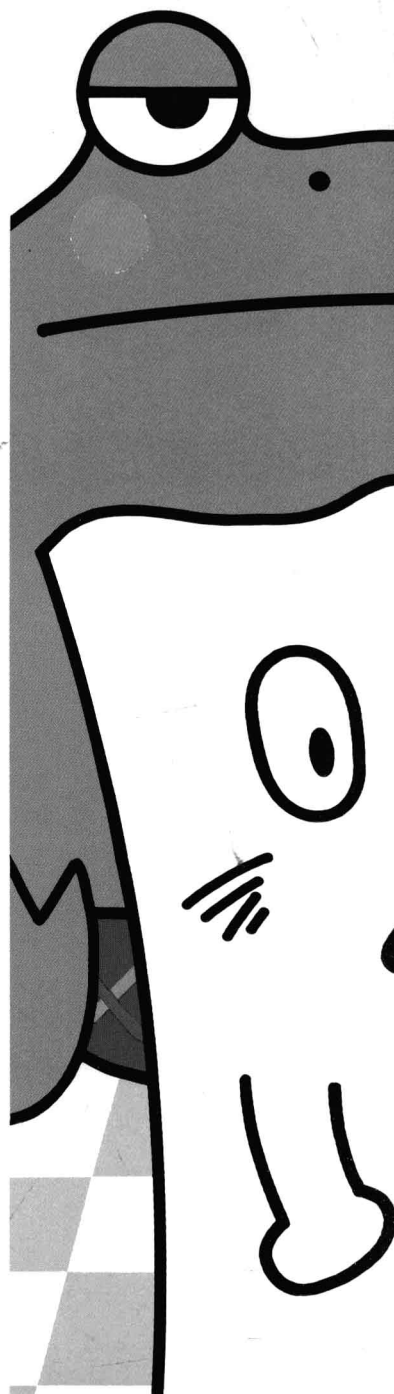
コニーちゃんは、めざましくんに
ばんそうこうを はって あげました。

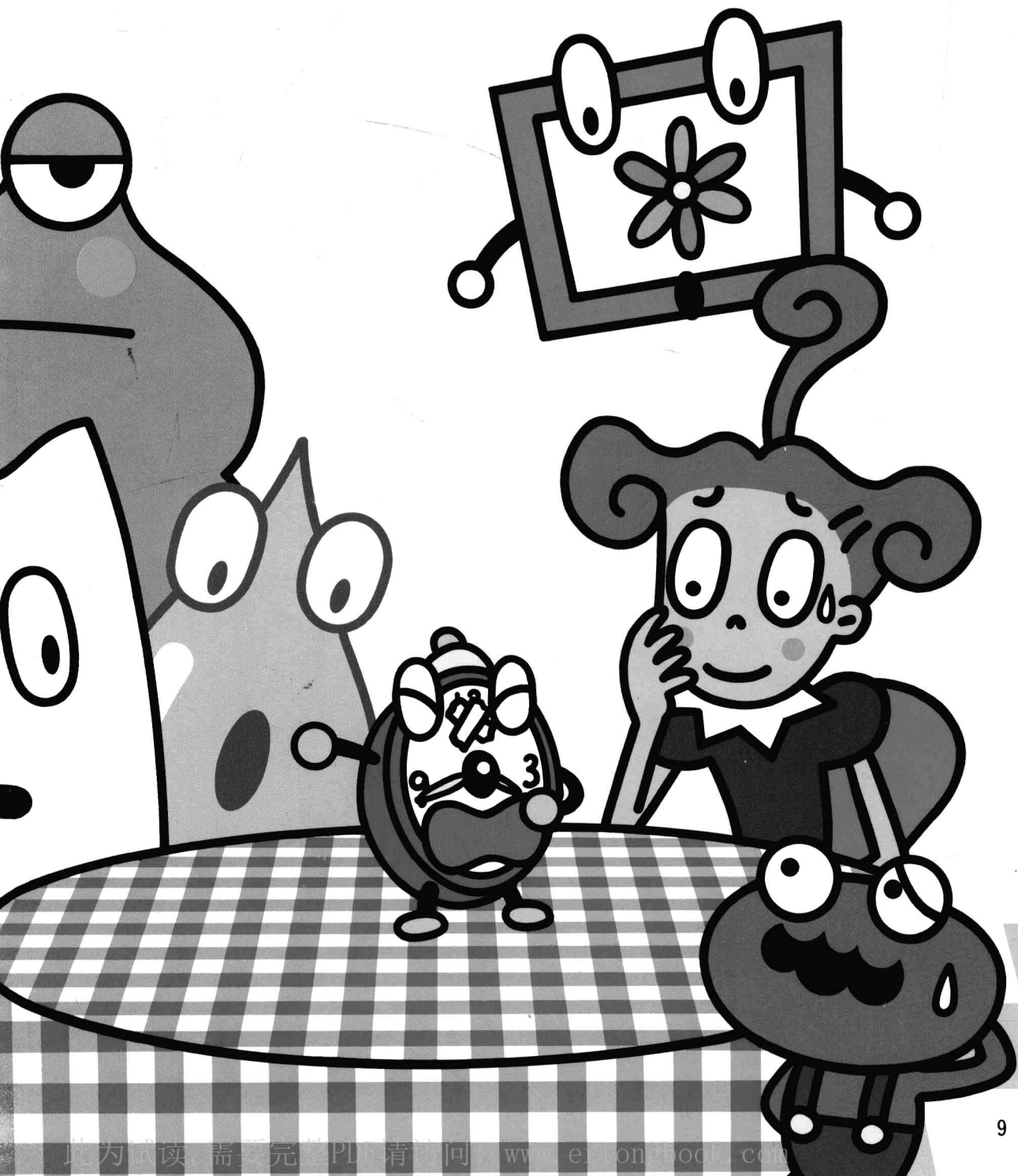
「だいじょうぶだよ。ふわあ〜！」

めざましくんは おおきな あくび。

すると、ニュートン^{にゅーとん}が いいました。

「めざましくんは いつも はやおきで、
とても つかれてるんだ^{けろ}ケロ。」



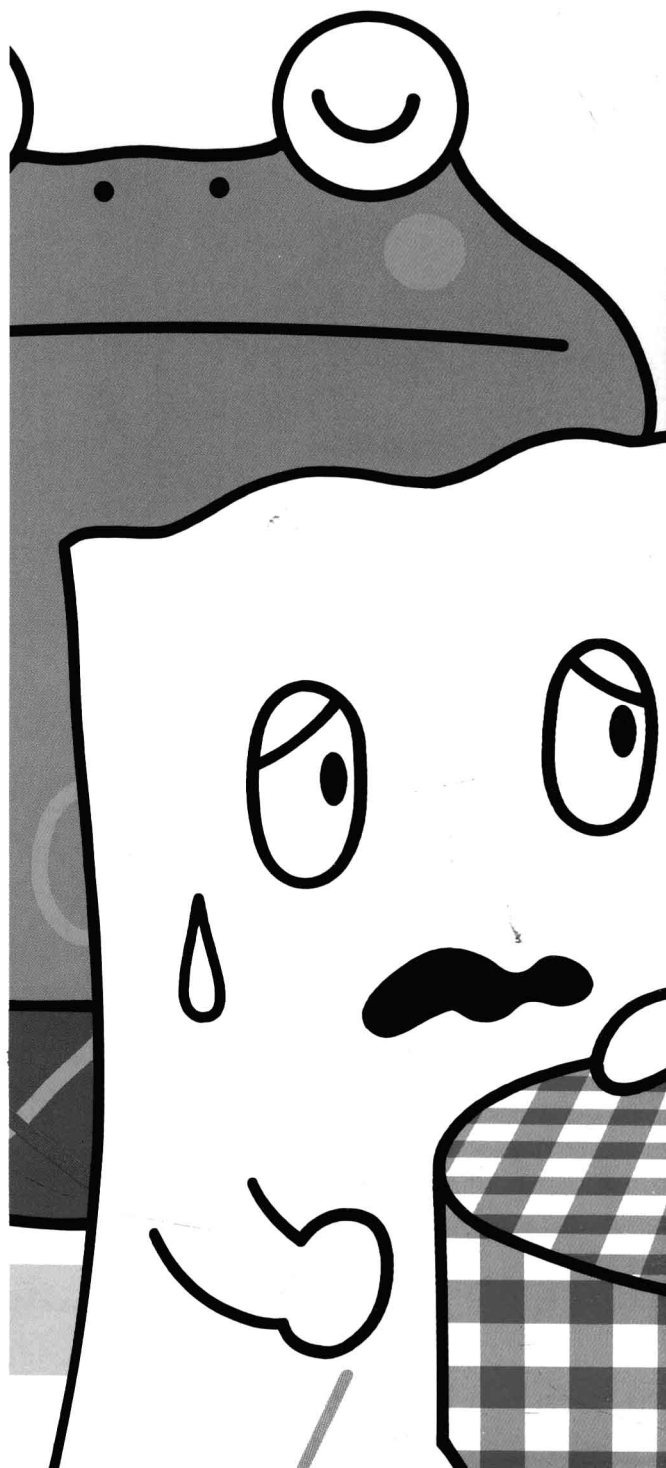


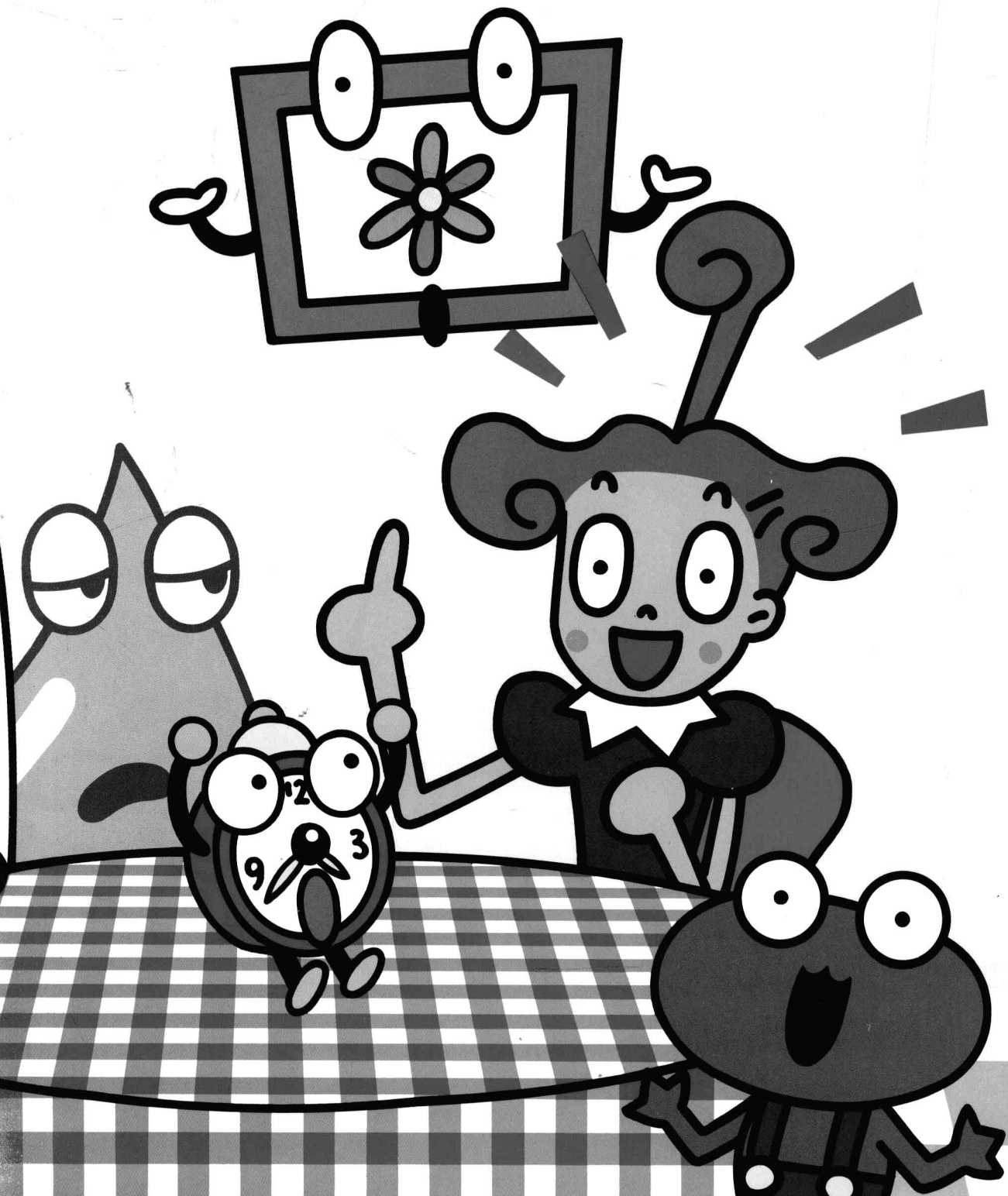
「そうだったの……。

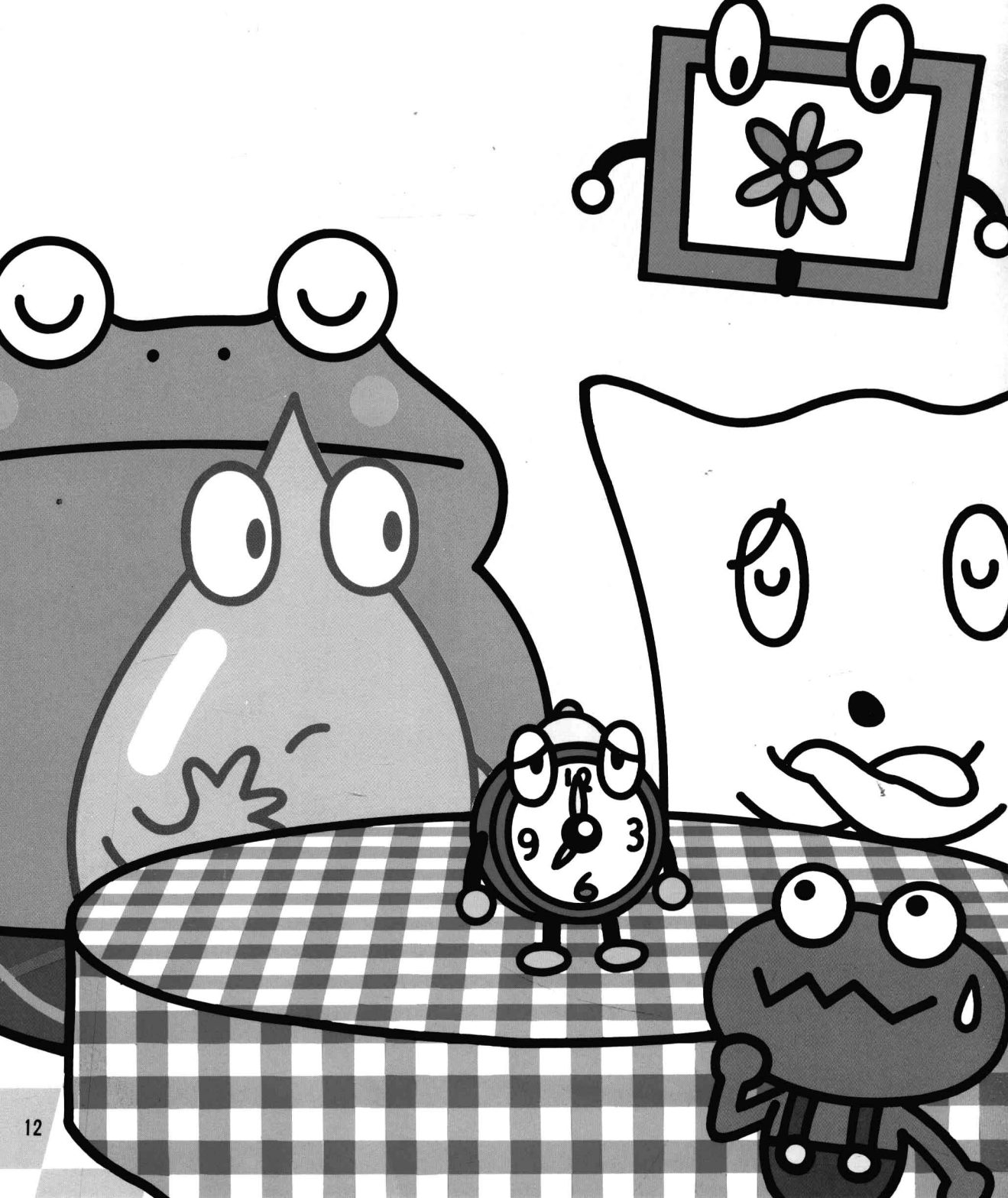
そうだ！ おわびに、
あしたは わたしが
めざましくんを おこして
あげる。」

「ええっ、^{こにー}ちゃん、
そんな こと いって
いいの？」

^{こにー}ちゃんが はやおき
するなんて、みんな
しんじられません。







よるに なりました。

こにーちゃんが ねむった あとで、

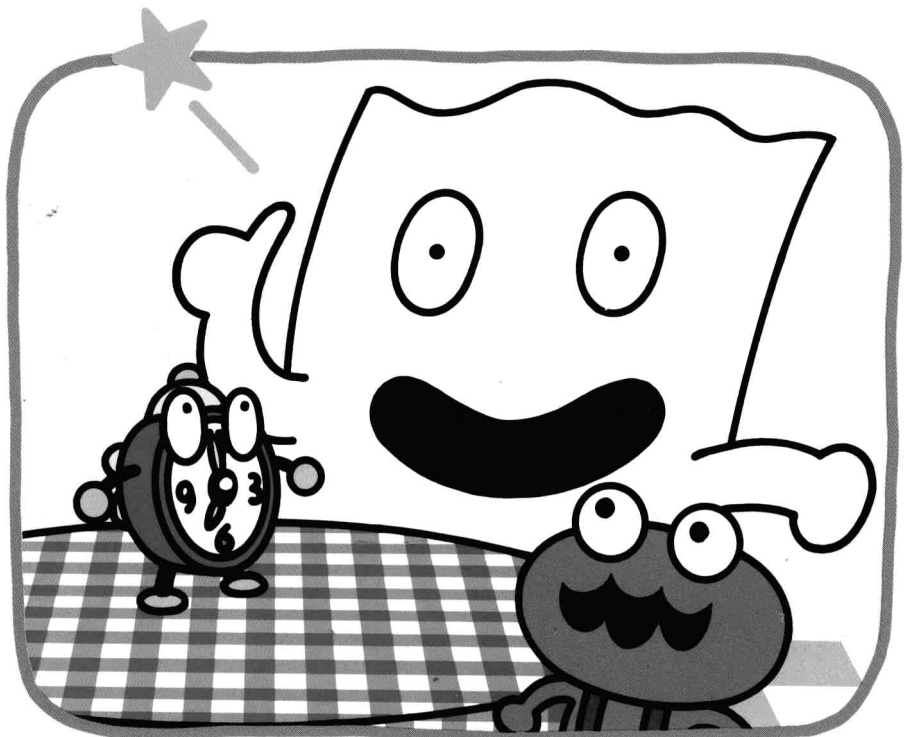
めざましくんたちは こっそり そうだんです。

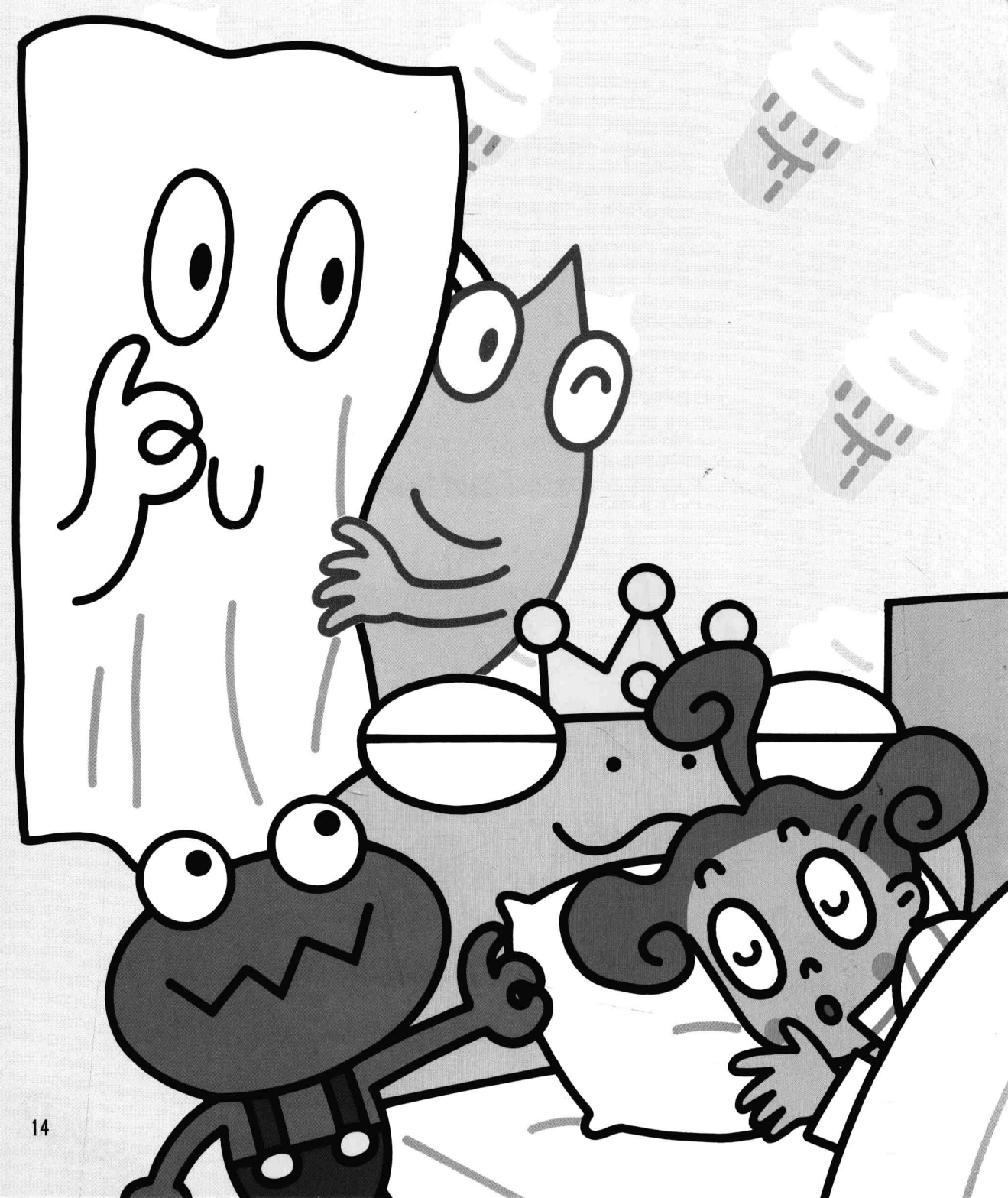
「こにーちゃん、ぜったい おきられる はず
ないのになあ……。」

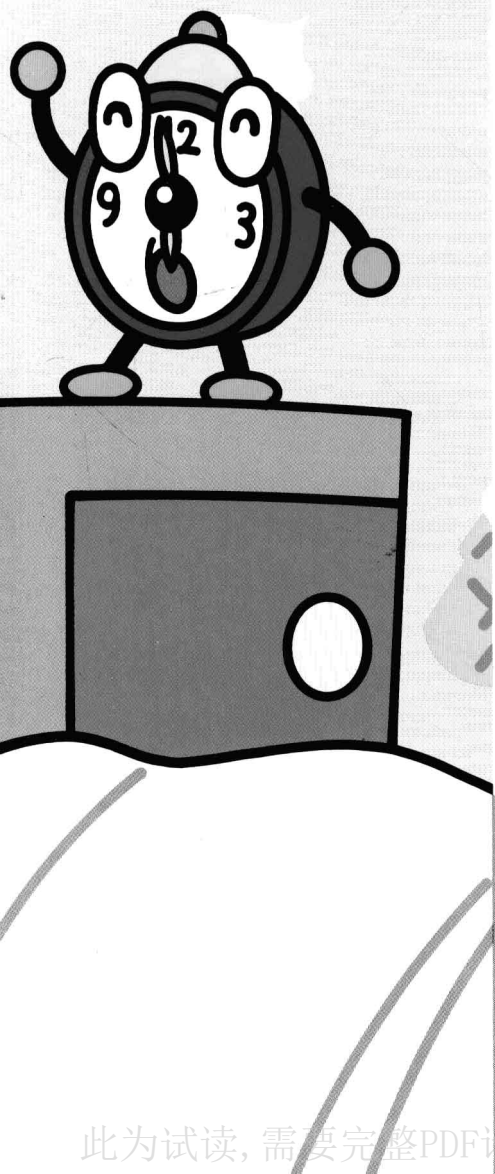
「こまったなあ、どう しょうか……？」

その とき、かーてんくんが いいました。

「そうだ！ いい かんがえが あるよ。」







つぎの ひの あさが きました。
こにーちゃんが まだ ぐっすり
ねむって いる うちに, みんなは
こっそり おきだしました。

「さあ, よういは いいかい?」
めざましくんが ちいさな こえで
いいました。

「だいじょうぶ, いつでも
おーけいだよ。」